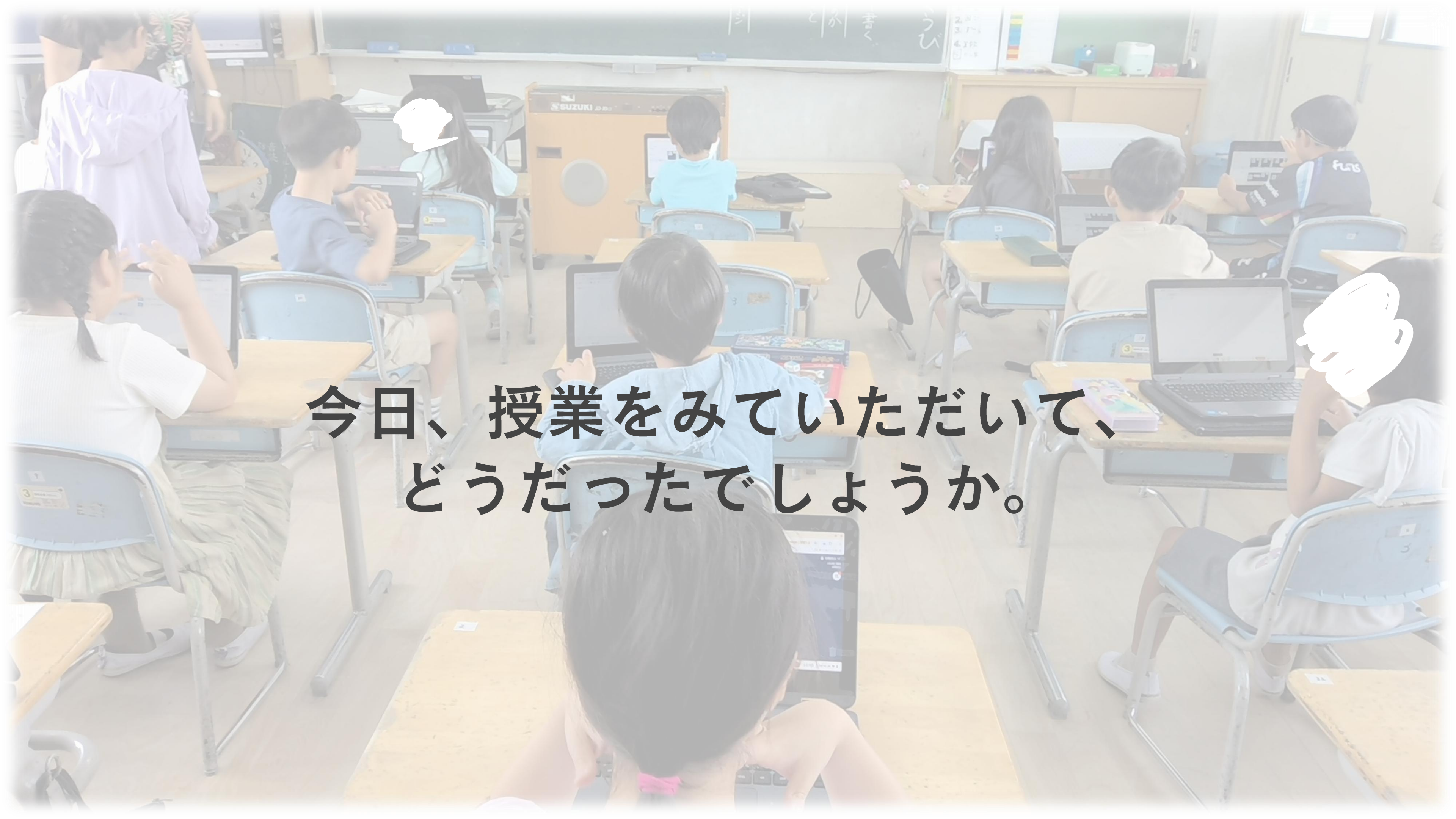


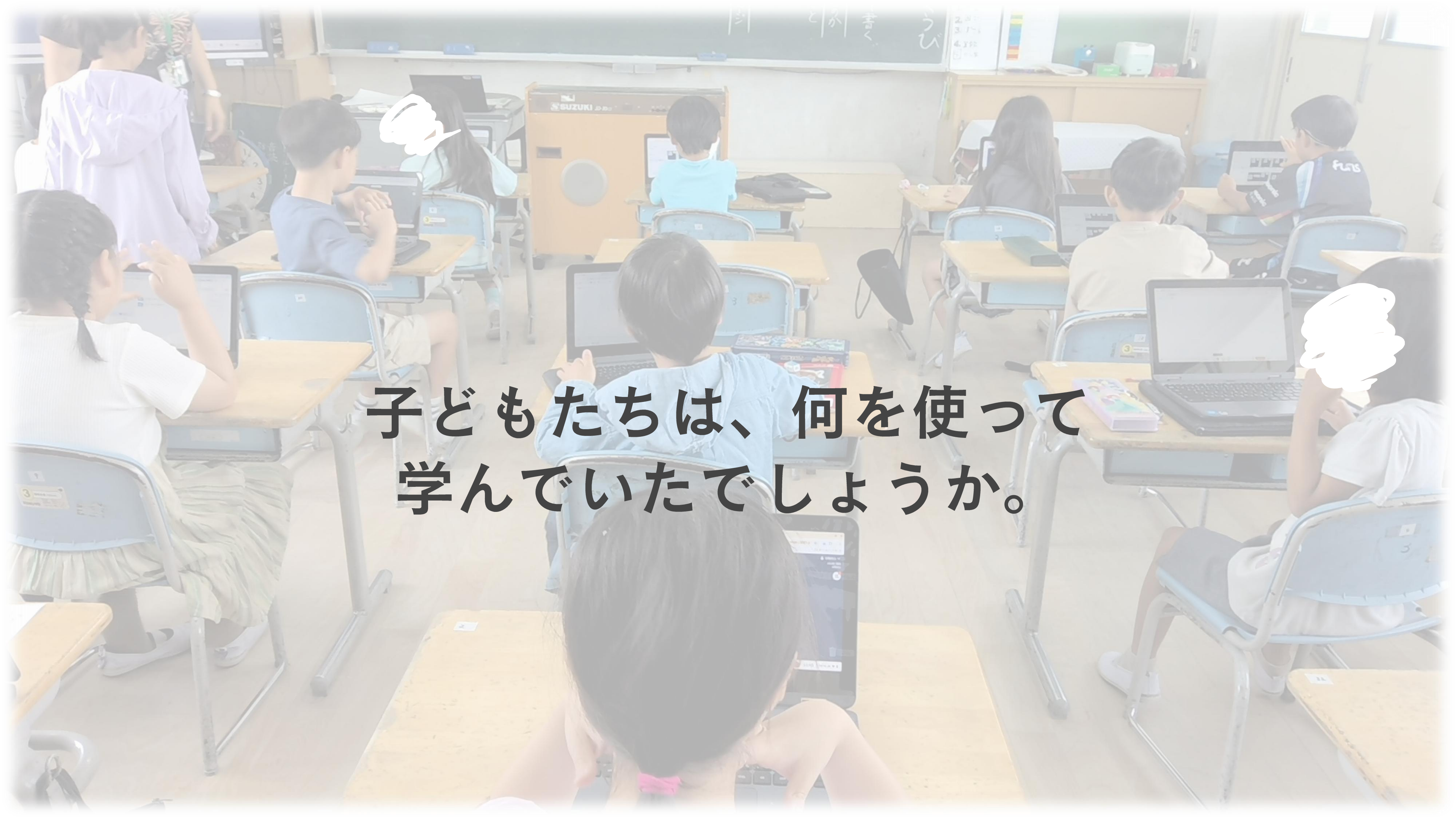
令和8年度 スクール・エンパワーメント推進事業
情報活用能力をはぐくむモデル校 実践発表

『情報活用能力を通じて、 子どもの主体性を引き出す』

令和8年9月25日（金）
門真市立門真小学校

A photograph of a classroom where several students are seated at their desks, each with a laptop open in front of them. The students are viewed from behind, looking towards the front of the room. In the background, there is a blackboard with some Japanese text and a Suzuki logo. The text is overlaid in the center of the image.

今日、授業をみていただいて、
どうだったでしょうか。



子どもたちは、何を使って
学んでいたでしょうか。

教科書



実物



クロームブック



友だち



先生



教科書



実物



クロームブック



どれも、子どもが学ぶための**一つの手段**です。

友たち



先生



教科書



実物



クロームブック



では、その先は？

友だち



先生



教科書



実物



クロームブック



大切なのは、何を使ったかではなく

友だち

先生



大阪府情報活用能力ステップシート

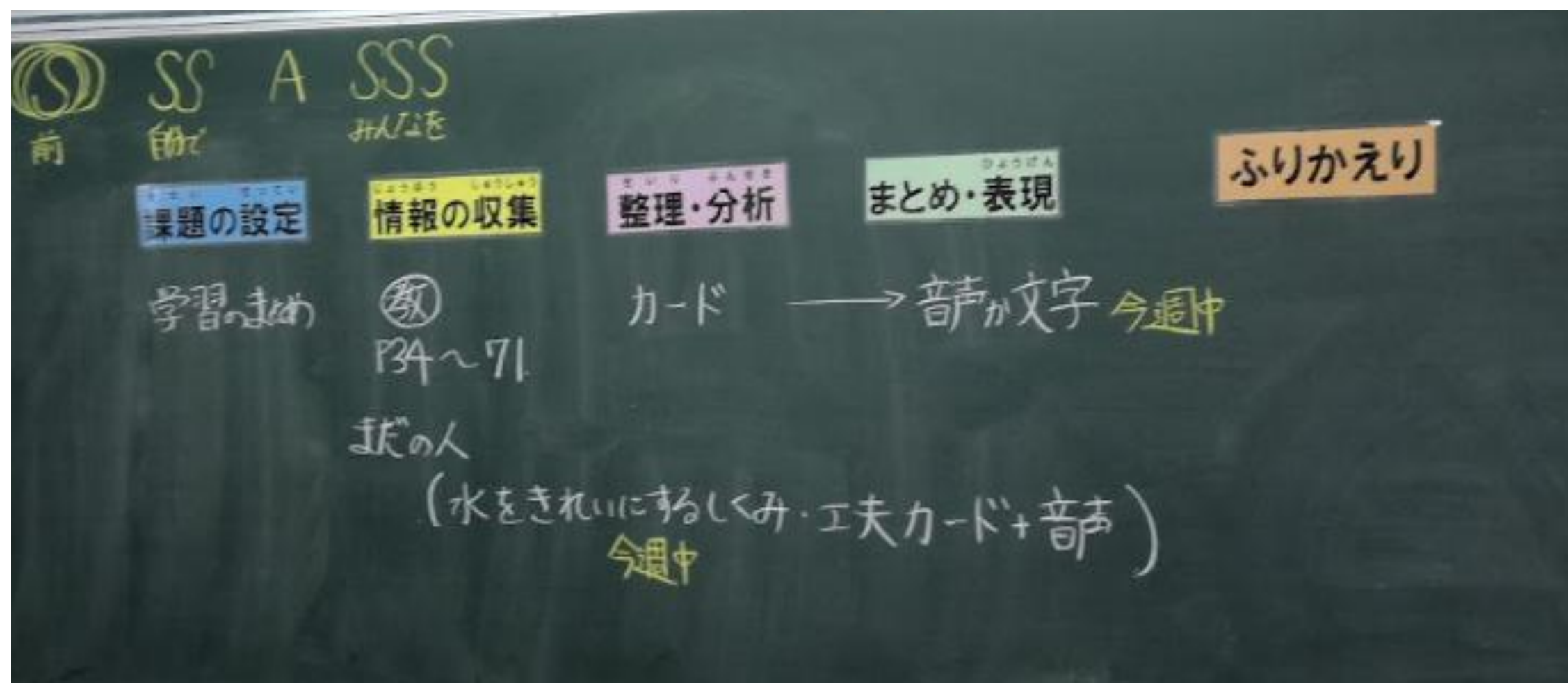
分類	項目	STEP1 (めやす：小学1・2年生)	STEP2 (めやす：小学3・4年生)	STEP3 (めやす：小学5・6年生)	STEP4 (めやす：中学生)
1 学び スキル	A 課題の設定	身の回りの事象に関する課題を設定できる	地域の事象に関する課題を設定できる	社会の事象に関する課題を設定できる	社会課題に関する課題を設定できる
	B 収集	情報を収集する身近な方法を知り、実施できる	情報を収集する複数の方法を知り、実施できる	調査を設計し、情報を適切に収集・検証できる	統計的な調査も含めて設計し、情報を効果的に収集・検証できる
	C 整理・分析	- 絵や図、簡単な表やグラフを用いて情報をまとめることができる - 共通と相違、事柄の順序など、情報と情報の関係を捉えられる - 正しくない情報があることを知る	- 正しい情報かどうか確かめようとする - 情報カードを使って、集めた情報の記録や整理ができる - 表やグラフなどを用いて情報を整理できる - 複数の情報から傾向、変化を捉え、共通点や相違点を見いだすことができる - 全体と中心など、情報と情報の関係を捉えられる	- 複数の表やグラフを用いて整理できる - 情報が信頼できるものか確かめることができる - 得た情報について論理的に考察し、新たな意味を見いだせる - 原因と結果など情報と情報との関係を捉えられる	- 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係を捉えられる - 目的に応じて、複数の表やグラフを用いて情報を統計的に整理・分析することができる - 目的に応じて、収集した資料を多面的・多角的に考察し、新たな意味を見いだせる
	D まとめ・表現	- 複数の情報から、わかったことをまとめられる - 自分の考えを写真や絵、手書き入力等による文字で、表現できる - 紙芝居、絵本、絵カード、ペーパーサートなどを使って表現できる	- 同一内容について2、3点以上の情報を比較したり、関係付けたりして、新たな意味を見いだせる - 自分の考えや意見を壁新聞やポスター、リーフレット、スライド等で相手に意識して表現できる	- 情報を取捨選択し、スライドや文書作成、表計算ソフトなどの複数のソフトで相手に目的に応じて表現できる - インタビューなどで聞いたことや見学・観察などの体験から得られた情報と、統計資料などから読みとったことを関連づけて報告文を書いたり、ポスターセッションなどを行うことができる	様々な相手や目的に応じて情報をまとめ、WEB等で適切且つ効果的に表現できる
	E 振り返り・改善	情報活用を振り返り、感想をもつことができる	情報活用を振り返り、改善点を見いだせる	情報活用を振り返り、効果を見いだせる	情報活用を振り返り、観点を決めて評価し、改善できる
2 学校図書館 活用スキル	F 本やメディアに親しもうとする態度	- たくさんの本にふれ、いろいろな本があることを知る - 読み聞かせ等を通じて、読書を楽しむ - 読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく	- ブックトーク等を通じて、さまざまな本にふれ、その良さを知ろうとする - 必要な知識や情報を得ることに、読書を役立たせようとする	- ビブリオバトル等を通じて、本の面白さや魅力を知り、伝えようとする - 読書が、自分の考えを広げることにつながることに気づく	- 本やメディアを適切に選択し課題を解決しようとする - 自分の考えを広げたり深めたりすることに、読書を生かそうとする
	G 図書館資料を利用する力	- 知識(調べたこと)と体験をつなげられる - 何かを知りたいときに、学校司書等、学校図書館に關係する人々に自ら尋ねるなど、関わり方・返し方を理解して、学校図書館のきまり、本の借り方・返し方を理解して、学校図書館を利用できる	- 考えに対する理由や事例(調べたこと)をつなげられる - 学校図書館にある本の配架や分類の仕方を理解して、学校図書館を利用できる	- さまざまな資料、データから読みとった複数の情報をもとに、自分で考えを構築できる - 日本十進分類法(NDC)のしくみを理解して、学校図書館を利用できる	- 考えの根拠として、さまざまな資料、データから読みとった複数の情報を活用し、自分の意見を表現できる - レファレンスサービスの活用方法について理解して、学校図書館を利用できる
	H メディアを活用する力	- 自然科学の本、図鑑の使い方がわかる - 抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる方法がわかる	- 百科事典、国語辞典、漢字辞典、地図、地域資料などの使い方がわかる - 本の目次や索引の使い方を理解し、さまざまな教科の学習に生かすことができる - 調べたことや自分の考えをまとめるとき、著作物の引用や出典について明示することができる	- 年鑑、新聞、雑誌などの使い方がわかる - 参考にした資料について、参考文献リスト等を作成することができる	- 参考図書などの使い方がわかる - 目的意識や他者意識をもって工夫して情報を発信したり、フィードバックをもらって改善したりすることができる - 目的に応じて必要な学校図書館メディアを複数選択し、比較検討することができる
	I 公共図書館等を活用する力	公共図書館の利用方法を知り、利用できる	各種施設(公共図書館、博物館、資料館)の特徴を知り、どこへ行けばどんな資料が得られるか理解することができる	目的に応じて、各種施設(公共図書館、博物館、資料館)の資料等を利用することができる	自ら調べたいことや知りたいことを解決するために各種施設(公共図書館、博物館、資料館)を利用し、課題解決のために活用することができる
3 ICTの 基本的操作 スキル	J 入力	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影、文字のフリック入力又は手書き文字自動変換機能などの基本操作ができる	キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる又は別の方法で同程度の文章入力ができる(8文字程度/1分間)	キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる又は別の方法で同程度の文章入力ができる(16文字程度/1分間)	キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる又は別の方法で同程度の文章入力ができる(25文字程度/1分間)
	K アプリケーション等の使用・操作	標準仕様のWEBブラウザやカメラ機能など、基礎的なアプリケーションを操作できる	標準仕様の文章作成、表計算、プレゼンテーション系アプリケーション、ノーコードのプログラミングソフトを操作できる	目的に応じて様々なアプリケーションを選択し、操作できる	複数のアプリケーションを関連づけて操作できる
	L 検索	インターネット上の情報を閲覧することができる	キーワード検索ができる	AND、ORなどの論理演算子を用いた検索ができる	目的に応じて適切に検索できる
	M 保存	ファイルの呼び出しや保存ができる	クラウドを用いて、ファイルの検索や共有ができる	クラウドを用いて、ファイルやフォルダの管理ができる	クラウドを用いて、規則性に従ったフォルダをつくらせたり、圧縮やパスワードによる暗号化などを用いた管理ができる
4 情報モラル・ 情報 セキュリティ	N 情報の取り扱いに関する理解	人の作った作品や情報を大切にすることや、その情報をむやみに他者に伝えてはいけないことを理解できる	- 自他の情報を発信、やり取りする場合の責任を理解できる - 他人が制作した情報を活用する際はURL等を含めた引用を明記する必要があることを知る	- 著作権等の情報に関する権利と重要性について理解できる - セキュリティソフトやフィルタリングを適用させるなど、情報を守るための手段や方法を知り、使用できる	- 発信した情報等について情報社会に及ぼす影響を理解できる - セキュリティソフトやフィルタリングなど、情報セキュリティ確保のための対策を自ら確認し、実施できる
	O 情報セキュリティに関する理解	情報機器を使用する際の基本的なルールに基づき正しく使用できる	パスワードを人に教えないなど、情報を守るための基本的な方法を知る	- ルールやマナーを守り、チャットやクラウドなどを適切に利用し、他人とやり取りができる - 社会に広がっている情報・ニュース等が事実に基づいているか判断したり、正しい情報について調べたりすることができる	- 生成AIの仕組み、利便性、リスク、留意点がわかる - より良い回答を引き出すための生成AIとの対話の方法がわかる - 目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を選択して安全に利用できる
	P 情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力	- パスワードやIDを自分で適切に管理・使用できる - ルールやマナーを守り、クラウドやインターネットの情報を閲覧できる - インターネット上に正しくないものがあると理解できる	- 自他の個人情報を教えたり、不審なサイトにアクセスしたり、不審なアプリケーションをダウンロードしたりすると危険があることをわかったうえで、インターネットを利用できる - インターネット上にある正しくないものを見極めようとする - SNSの便利さと危険性について知る	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする
	情報を適切に取扱いながら	自他の大切さを理解する	自他の情報の大切さを理解する、適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする	情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとする

分類	項目	STEP1 (めやす：小学1・2年生)	STEP2 (めやす：小学3・4年生)	STEP3 (めやす：小学5年生)	STEP4 (めやす：中学生)
1 学び スキル	A 課題の設定	身の回りの事象に関する課題を設定できる	地域の事象に関する課題を設定できる	社会の事象に関する課題を設定できる	社会課題に関する課題を設定できる
	B 収集	情報を収集する身近な方法を知り、実施できる	情報を収集する複数の方法を知り、実施できる	情報を収集する複数の方法を知り、実施できる	統計的な調査も含めて設計し、情報を効果的に収集・検証できる
	C 整理・分析	絵や図、簡単な表やグラフを用いて情報をまとめることができる 共通と相違、事柄の順序など、情報と情報の関係を捉えられる 見えない情報があることを知る	正しい情報かどうか確かめられる 情報カードを使って、情報を記録や整理ができる 表やグラフなどを用いて情報を整理できる 複数の情報から関係性を捉え、共通点や相違点を捉えられる 全体と中心など、情報と情報の関係を捉えられる 同一事象について2,3点以上の情報を比較したり、関係付けたりして、新たな事象を見いだせる 自分の考えや意見を壁新聞・ポスター、リーフレット、スライド等で相手に意図的に表現できる	正しい情報かどうか確かめられる 情報カードを使って、情報を記録や整理ができる 表やグラフなどを用いて情報を整理できる 複数の情報から関係性を捉え、共通点や相違点を捉えられる 全体と中心など、情報と情報の関係を捉えられる 同一事象について2,3点以上の情報を比較したり、関係付けたりして、新たな事象を見いだせる 自分の考えや意見を壁新聞・ポスター、リーフレット、スライド等で相手に意図的に表現できる	意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係を捉えられる 目的に応じて、複数の表やグラフを用いて情報を統計的に整理・分析することができる 目的に応じて、収集した資料を多面的・多角的に考察し、新たな意味を見いだせる 様々な相手や目的に応じて情報をまとめ、WEB等で意図的に効果的に表現できる
	D まとめ・表現	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる
	E 振り返り・改善	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる	情報を活用して、自分の考えや意見を表現できる
2 学校図書館 活用スキル	F 本やメディアに親しもうとする態度	たくさんの本にふれ、いろいろな本があることを知る 読み聞かせ等を通じて、読書を楽しむ 読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく	ブックトーク等を通じて、読書を楽しむ 読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく	ブックトーク等を通じて、読書を楽しむ 読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく	ブックトーク等を通じて、読書を楽しむ 読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づく
	G 図書館資料を利用する力	知識(調べたこと)と体験をつなげられる 何かを知りたいときに、学校司書等、学校図書館に頼る人々に自ら尋ねるなど、関わりをもつことができる 学校図書館のきまり、本の借り方・返し方を理解して、学校図書館を利用できる	知識(調べたこと)と体験をつなげられる 何かを知りたいときに、学校司書等、学校図書館に頼る人々に自ら尋ねるなど、関わりをもつことができる 学校図書館のきまり、本の借り方・返し方を理解して、学校図書館を利用できる	知識(調べたこと)と体験をつなげられる 何かを知りたいときに、学校司書等、学校図書館に頼る人々に自ら尋ねるなど、関わりをもつことができる 学校図書館のきまり、本の借り方・返し方を理解して、学校図書館を利用できる	知識(調べたこと)と体験をつなげられる 何かを知りたいときに、学校司書等、学校図書館に頼る人々に自ら尋ねるなど、関わりをもつことができる 学校図書館のきまり、本の借り方・返し方を理解して、学校図書館を利用できる
	H メディアを活用する力	自然科学の本、図鑑の使い方がわかる 抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる方法がわかる	自然科学の本、図鑑の使い方がわかる 抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる方法がわかる	自然科学の本、図鑑の使い方がわかる 抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる方法がわかる	自然科学の本、図鑑の使い方がわかる 抜き書きをしたり、絵や文などを用いたりして、調べたことをまとめる方法がわかる
	I 公共図書館等を活用する力	公共図書館の利用方法を知り、利用できる	公共図書館の利用方法を知り、利用できる	公共図書館の利用方法を知り、利用できる	公共図書館の利用方法を知り、利用できる
3 ICTの 基本的操作 スキル	J 入力	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影、文字のフリック入力又は手書き文字自動変換機能などの基本操作ができる	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影、文字のフリック入力又は手書き文字自動変換機能などの基本操作ができる	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影、文字のフリック入力又は手書き文字自動変換機能などの基本操作ができる	起動や終了、ログイン・ログアウト、写真撮影、文字のフリック入力又は手書き文字自動変換機能などの基本操作ができる
	K アプリケーション等の使用・操作	標準仕様のWEBブラウザやカメラ機能など、基礎的なアプリケーションを操作できる	標準仕様の文章作成、表計算、スプレッドシート、アプリケーション、ノーコードのアプリケーションを操作できる	標準仕様の文章作成、表計算、スプレッドシート、アプリケーション、ノーコードのアプリケーションを操作できる	標準仕様の文章作成、表計算、スプレッドシート、アプリケーション、ノーコードのアプリケーションを操作できる
	L 検索	インターネット上の情報を閲覧することができる	キーワード検索ができる	キーワード検索ができる	キーワード検索ができる
	M 保存	ファイルの呼び出しや保存ができる	クラウドを用いて、ファイルの検索・保存ができる	クラウドを用いて、ファイルの検索・保存ができる	クラウドを用いて、ファイルの検索・保存ができる
4 情報モラル・ 情報 セキュリティ	N 情報の取り扱いに関する理解	人の作った作品や情報を大切にすることや、その情報をむやみに他者に伝えてはいけないことを理解できる	自他の情報を発信、やり取りする際のルールやマナーを守り、適切な方法で情報を活用する 他人が制作した情報を活用する際は、引用を明記する必要があることを知る	自他の情報を発信、やり取りする際のルールやマナーを守り、適切な方法で情報を活用する 他人が制作した情報を活用する際は、引用を明記する必要があることを知る	自他の情報を発信、やり取りする際のルールやマナーを守り、適切な方法で情報を活用する 他人が制作した情報を活用する際は、引用を明記する必要があることを知る
	O 情報セキュリティに関する理解	情報機器を使用する際の基本的なルールに基づき正しく使用できる	パスワードを人に教えないなど、情報を守るための方法を学ぶ パスワードを人に教えないなど、情報を守るための方法を学ぶ	パスワードを人に教えないなど、情報を守るための方法を学ぶ パスワードを人に教えないなど、情報を守るための方法を学ぶ	パスワードを人に教えないなど、情報を守るための方法を学ぶ パスワードを人に教えないなど、情報を守るための方法を学ぶ
	情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力	パスワードやIDを自分で適切に管理・使用できる ルールやマナーを守り、クラウドやインターネットの情報を閲覧できる インターネット上に正しくないものがあると理解できる	パスワードやIDを自分で適切に管理・使用できる ルールやマナーを守り、クラウドやインターネットの情報を閲覧できる インターネット上に正しくないものがあると理解できる	パスワードやIDを自分で適切に管理・使用できる ルールやマナーを守り、クラウドやインターネットの情報を閲覧できる インターネット上に正しくないものがあると理解できる	パスワードやIDを自分で適切に管理・使用できる ルールやマナーを守り、クラウドやインターネットの情報を閲覧できる インターネット上に正しくないものがあると理解できる
	情報を適切に取扱いながら	自他の権利やプライバシーを尊重し、適切に行動しようとする	自他の権利やプライバシーを尊重し、適切に行動しようとする	自他の権利やプライバシーを尊重し、適切に行動しようとする	自他の権利やプライバシーを尊重し、適切に行動しようとする



学びスキルの系統表

大阪府のステップシート、他校の系統表を参考に作成



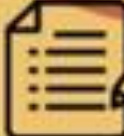
学びの過程	ステップ1 (めやす1・2年生)	ステップ2 (めやす3・4年生)	ステップ3 (めやす5・6年生)
これまでの学びをふまえた 課題の設定 ?	長期課題 身の回りのことにふしぎさやおもしろさを感じ、自分で決めた課題について、どのように進めるか考えてみよう 短期課題 自分の中に生じた疑問ややってみたいことから、学びのめあてをもとう	学んだことや身の回りの生活と結びつけて考え、気になったことや解決したいことを課題として見つけ、どのように取り組むかを計画しよう 気づいたことや困ったことから、学んでみたい課題を見つけてよう	教科の学びや社会で起きていることに目を向けて課題を考え、自分の考えた理由や予想をもとに、どのように進めるかを計画しよう いろいろな見方や考え方で考えて、学びたい課題を決めよう
目的を明確にした 情報の収集	教科書や本、友だちとの話や自分の体験など、身近なところから課題に必要なことを見つけてよう	テレビや新聞、インターネットや本など、いろいろな方法を使って目的に合った大切なことを集めよう	自分で考えたやり方で、調査やインタビュー、実験や観察、測量や測定などを使って、目的に合った大切なことを集めよう
情報のつながりを意識した 整理・分析	整理 言葉やかんたんな絵、図、表、グラフなどを使って、自分の考えをわかりやすくまとめよう 考察 見つけたことを比べて、共通点やちがいが、順番や流れなどに気づこう 選択・決定 集めた情報の中から、正しいかどうかを考えて、わかりやすいものを選ぼう	表やグラフ、思考ツールなどを使って、集めたことや考えを見やすく整理しよう いくつかの情報を比べて、特徴や変化、要点や傾向などを考えよう 情報が正しいかどうか、ほかの調べたことや結果と比べてたしかめよう	表やグラフ、思考ツールを組み合わせ、集めたことや考えをわかりやすく整理しよう 集めた情報をもとに、理由やしくみ、それぞれの関係を考えて、新しいことに気づこう その情報が信頼できるかどうか出どころをたしかめて選び、理由やもともになっていることをもとに考えよう
相手を意識した まとめ・表現	まとめ いくつかの情報を合わせて、わかったことをかんたんにまとめよう 構成 伝える順番を考えて、聞く人や読む人にわかりやすく表現しよう 手段・発信 相手のことを考えて、写真や絵図、紙しばいなどを使ってわかりやすく伝えよう	いくつかの情報を比べたり、関係づけたりして、自分の考えや意見をまとめよう 相手のことを考えて、自分の考えが伝わるように言葉を選んだり表現しよう 相手や目的に合うように、壁新聞やポスター、チラシやスライドなどから表し方を選んで、自分の考えや意見を伝えよう	自分の体験や見学、観察などと、資料やデータを関係付けてまとめよう 話す相手とのやりとりや伝えたい目的を考えて、わかりやすく伝わるように工夫して表現しよう 伝えたい目的や思いに合うように、スライドや文しょう、表のソフトなどを組み合わせて伝えよう
より良い学び方を意識した ふりかえり・改善	自分の調査改善 わかったことや気づいたこと、うまくいったことなどをふりかえり、感じたことを言葉にしよう	学びの進め方やわかった理由などをふりかえって、自分の学び方のよかったところや直したいところを見つけよう	自分の学び方をふりかえって、もっとよくなるように考えながら、次の学習に向けてやり方をととのえよう

参考：文部科学省 情報能力体系表例、大阪府情報活用能力ステップシート、羽曳野市立西浦小学校・豊中市立刀根山小学校情報活用能力の体系表

「めあて」と「ふりかえり」をつなぐ授業改善

学び方を深める「ふりかえり」の習慣化

[illegible]



ふりかえり（セーブ）

+

成功した、うまくできたこと。めあてをクリア。

—

失敗した、まちがえた、できなかったこと。

→

つぎは、どうするか？（計画・方法・時間）

!

分かったこと、大切だと思ったこと。

?

なぜ？どうやって？ 疑問？ 不思議？

☆

「進化」「レベルアップ」したこと。



「めあて」と「ふりかえり」をつなぐ授業改善

C	D	E	F	G	H
貴族の暮らし					
学習課題		教科書	キーワード	補助教材（リンク等）	ふりかえり
1	平安時代の暮らしについて知ろう	P36~37	貴族	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310768_00000 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310035_00000	学習の進め方について・友達に藤原道長の息子の名前の覚え方を教えてもらった。・図に表すこともできた。 学んだこと ・天皇との関係を強くするため、娘を天皇のきさきにし、天皇との関係を強くした。
貴族が力を持って、政治を行っていた頃、文化はどのようなものだったでしょうか。					
2	藤原氏が栄えていた頃、どのような文化が生まれたのでしょうか。	P38~39	日本風の文化	https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005402320_00000 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/clip/?das_id=D0005310039_00000	学習の進め方について・先生にまとめ方のコツを教えてもらった。藤原氏が栄えていた頃の文化が今はどのような様になっているかをまとめた。 学んだこと ・藤原氏が栄えていた頃の遊びは蹴鞠や囲碁、双六などがあり、そこから派生されたのが手まりや人生ゲームなどである。・その頃中国からやってきた漢字を崩して作ったひらがなやカタカナができた。
					学習の進め方について・平安時

子どもたちは、「自分で学ぶ」ことができるようになってきた

○自ら進んで取り組む

94%

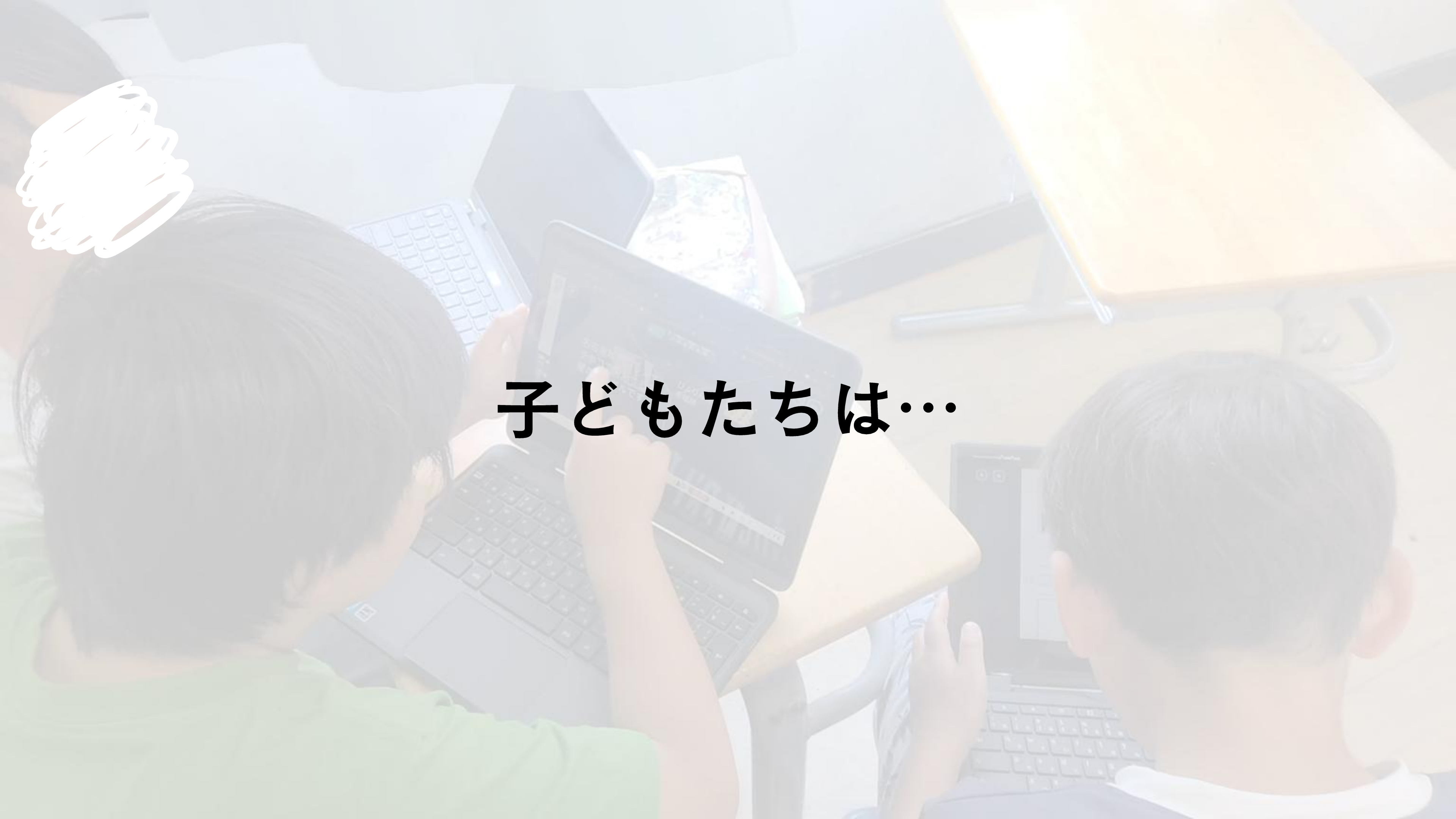
○友達と協力して学ぶ

96%

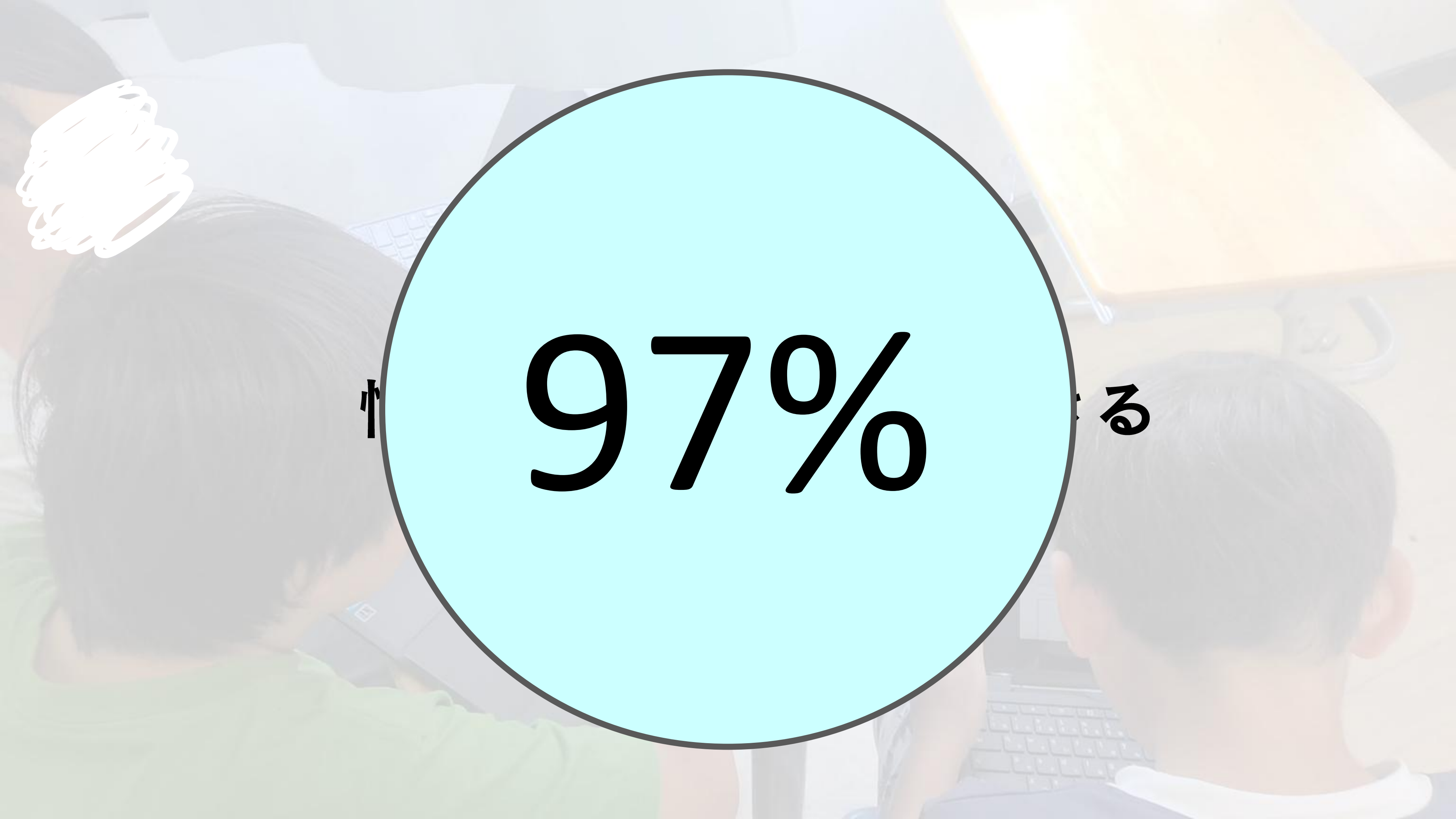
○自分に合った方法・ペースで学ぶ

95%

でも、



子どもたちは…



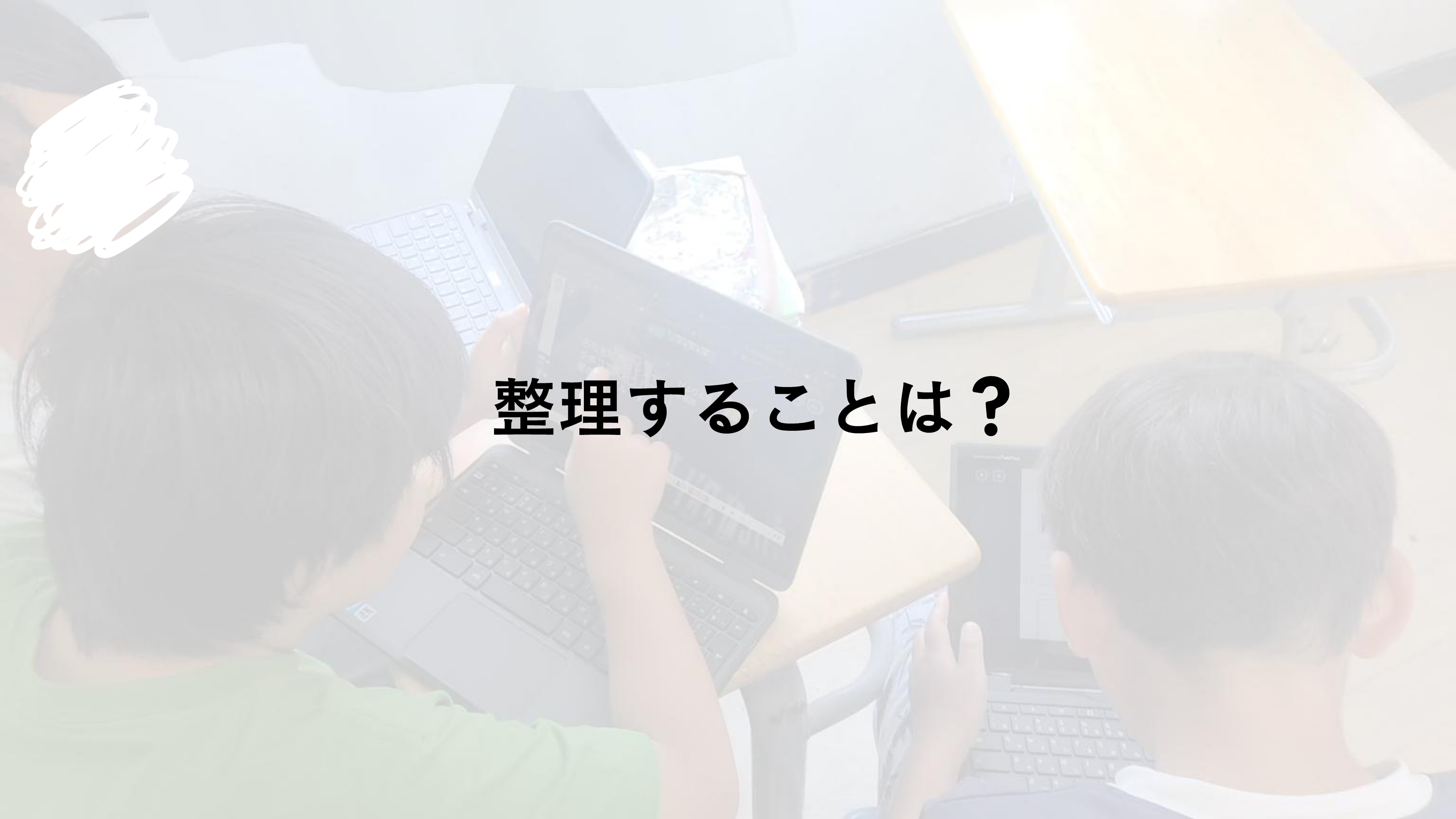
97%

小

る



でも...



整理することは？

そして、もう一つ。

おもしろそう63倍です

①のせうめい

63兆→25兆のやり方はさきとおなじで、⑤つきは一になただけだからやりかたは同じで兆をさきにけす。でも⑤と同じでしたりまなひにながなにかい、またらしい考えをする。

②①のせうめい、さきはさうたかいかいさんて

20

さきはさうたかいかいさんて

たしさんのさたえを、わひ
ささんの
ます

まとめ

億は億とたしさんして
も億はかわらない。

ふりかえり

④1人だけ自分のペ
ースでいうちめしてべん
きょうができた。

⑤まとめが、なんかいんじ
にならせた。

③つきは1人でまとめかくと、きもつ
じかんをあまかしてちゃんと考える。
④くふうしてけいさんができたと思
う。

A+がはじめてとれたから1人でやった
↑1人でやったリゆう。

振り返ることはできる

おもしろそう63倍です

①のせうめい

63兆→25兆のやり方はさきとおなじで、⑤つきは一になただけだからやりかたは同じで兆をさきにけす。でも⑤と同じでしたりまなひにながなにかい、おもしろい考えをする。

②①のせうめい、おもしろい考えをする。

20

おもしろい

たしさんのこたえを、おもしろい
さきさんのこたえをさとい
ます←きょうり、おもしろい

まとめ

・億は億とたしさんして
も億はかわらない。

ふりかえり

④1人だけ自分のペ
ースでいうちめしてべん
きょうができた。

⑤まとめが、おもしろい
になっちゃった。

③つきは1人でまとめ、かくとき、もっと
じかんをあまかしてちゃんと考える。
④くふうしてけいさんができたと思
う。

A+がはじめてとれたから1人でやった
↑1人でやったリゆう。

でも...

おもしろそう63倍です

①のせうめい

63兆→25兆のやり方はさきとおなじで、⑤つきは一になただけだからやりかたは同じで兆をさきにけす。でも⑤と同じでしたりまなひにながなにかい、おもしろい考えをする。

②①のせうめい、おもしろい考えをする。

②①

たしさんのことを、おもしろ

さき

ま

まとめ

億は億とたしさんして

も億はかわらない。

ふりかえり

④1人だけ自分のページでいうちめしてべんきょうができた。

⑤まとめが、なんかいんじにならせた。

③つきは1人でまとめかくとき、もっとじかんをあまかしてちゃんと考える。
④くふうしてけいさんができたと思う。

A+がはじめてとれたから1人でやった。1人でやったリゆう。

次の学びに活かせている？

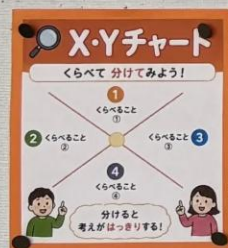
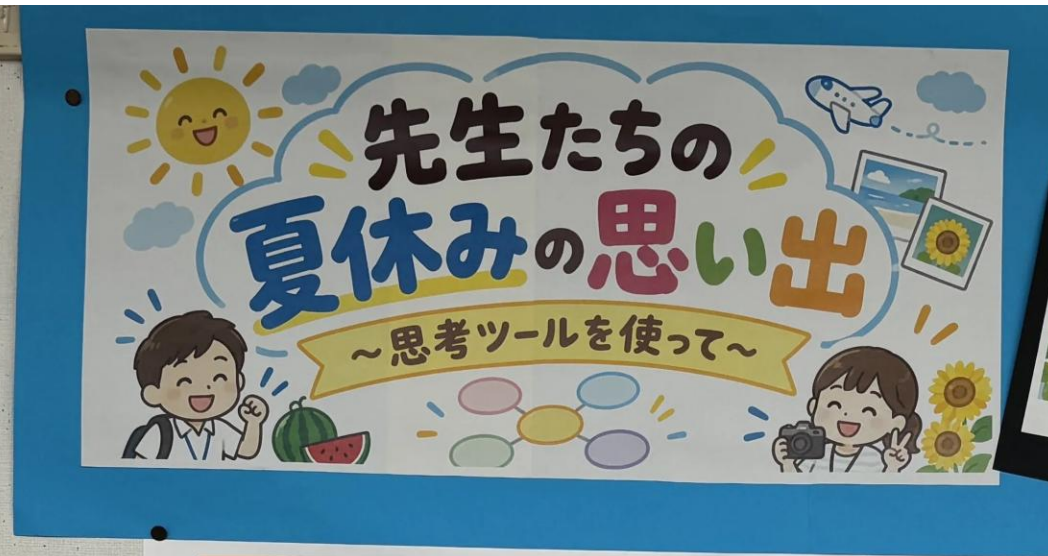


そこで、今年度は…

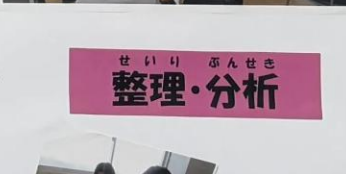
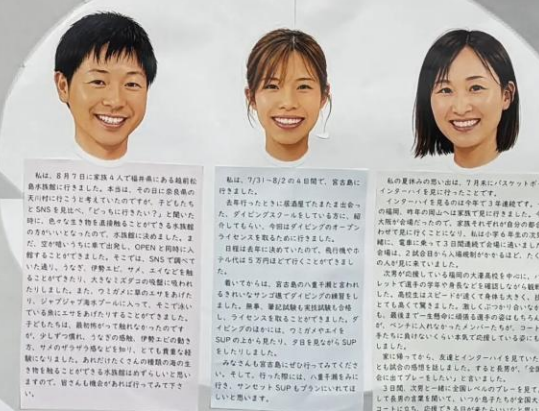
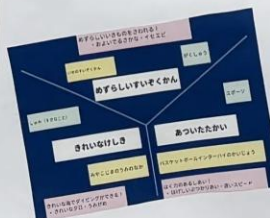
①集めた情報を「整理・分析する力」

②振り返りを「次の学びにつなげる力」

「整理・分析する方法」を増やす



ひょうげん
まとめ・表現



せいり ぶんせき
整理・分析



「ふりかえり」を次の学習につなぐ

次の学びに活かす「ふりかえり」

ふりかえる



うまくいったこと
できなかったことを
振り返る。

次はどうする



うまくいくために、
次の方法や目標を
考える。

実際にやってみる



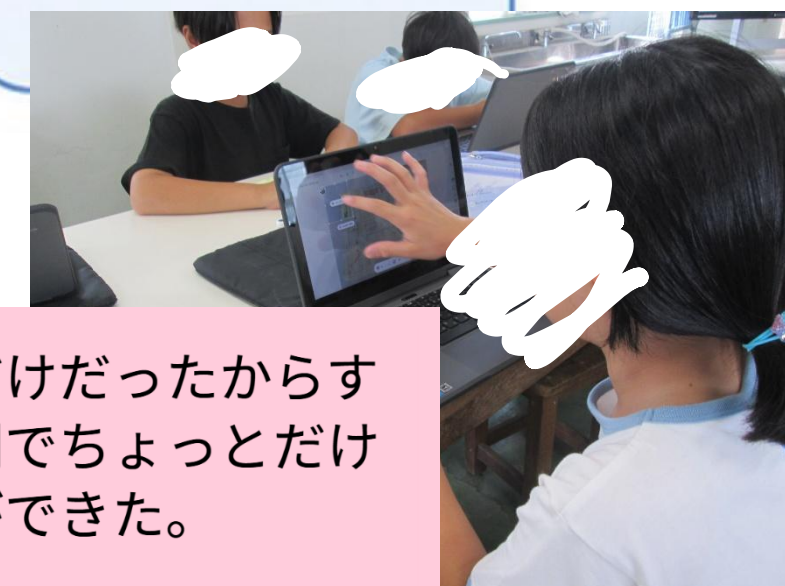
考えたことを、
実際にやってみる。

前回、並縫いは
終わったから今
回は本返し縫い
を進めていき
たい。

＋今日は本返し縫いだけでなく、半返し縫いもすることができあとかがりぬいだけの状態になった。それに玉止め、玉結びをきれいにすることができた。
－特になし→これからもきれいに玉結び、玉止めができるようにしたい。



＋今日はかがりぬいだけだったからすぐ終わった。残り時間でちょっとだけミニ先生をすることができた。
－特になかった。
→これからも残った時間を使って人の役に立てるように頑張る。



ここまでの取組が、
「主体性」につながっている。

自己調整

めあて・見通し



めあてを立て、
学ぶ計画や方法を見通す。

自分で学ぶ



自分で選んだ方法で、
集中して学ぶ。

振り返る



学んだことや
できたこと、課題を
振り返る。

学び方を調整する

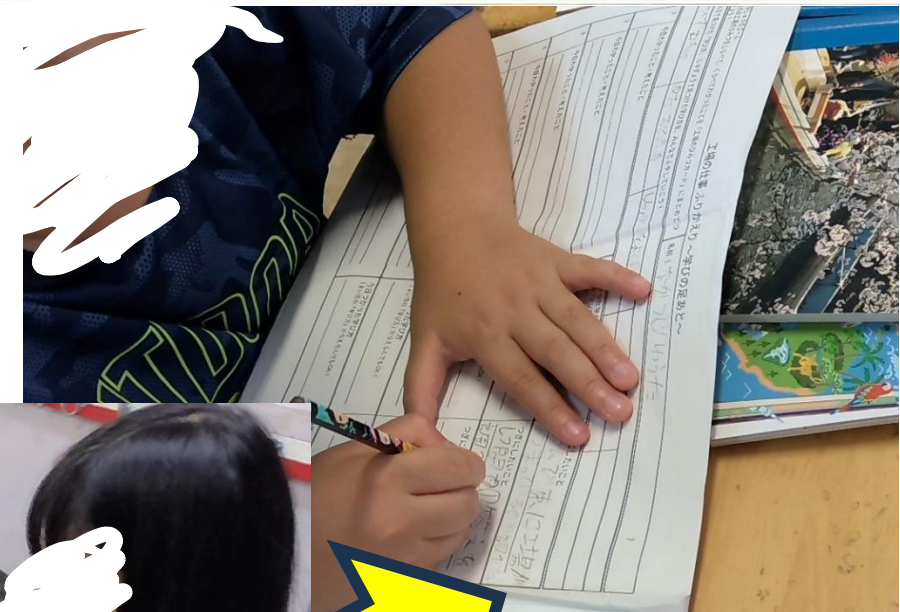
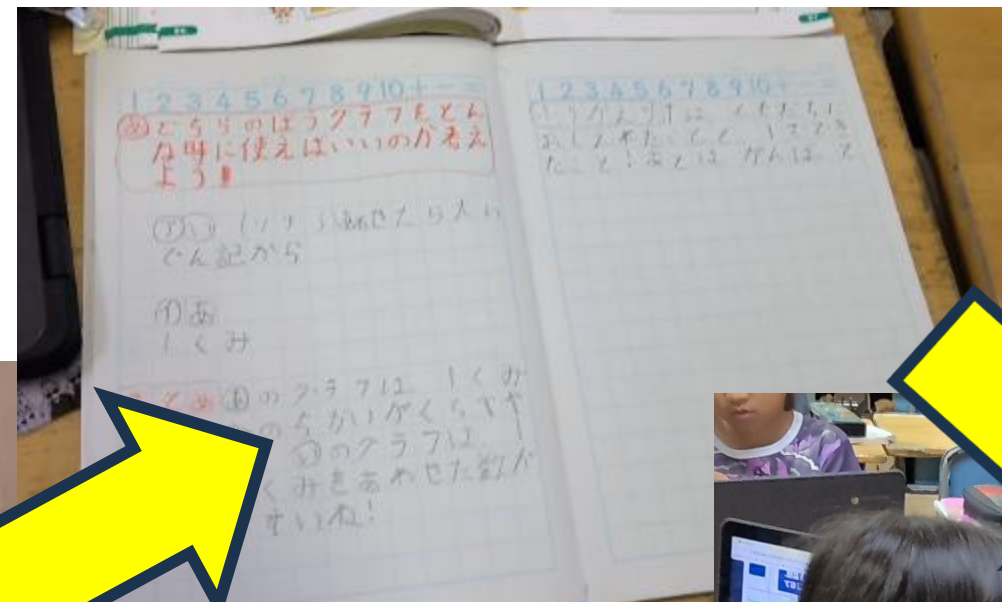
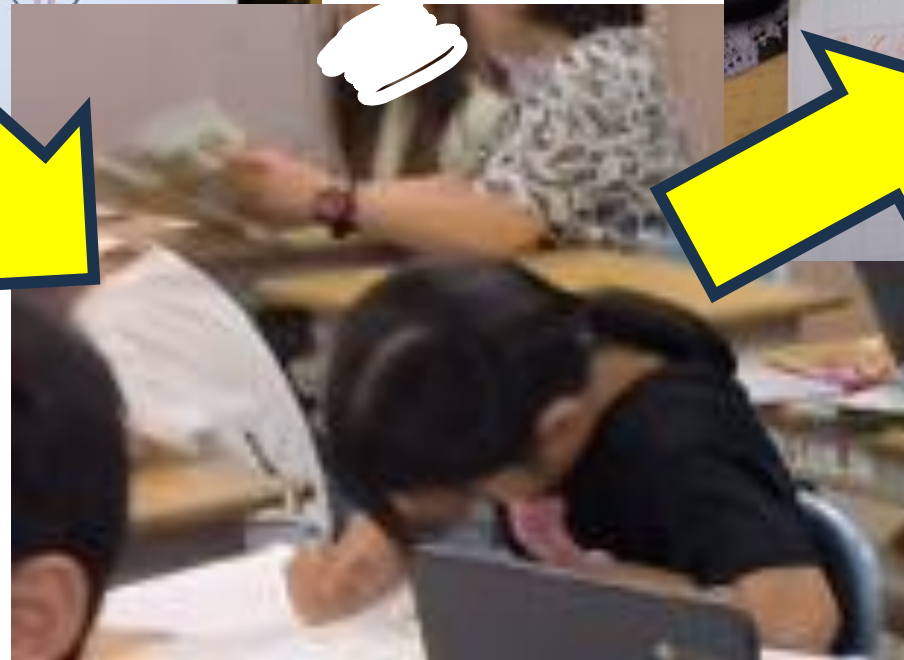
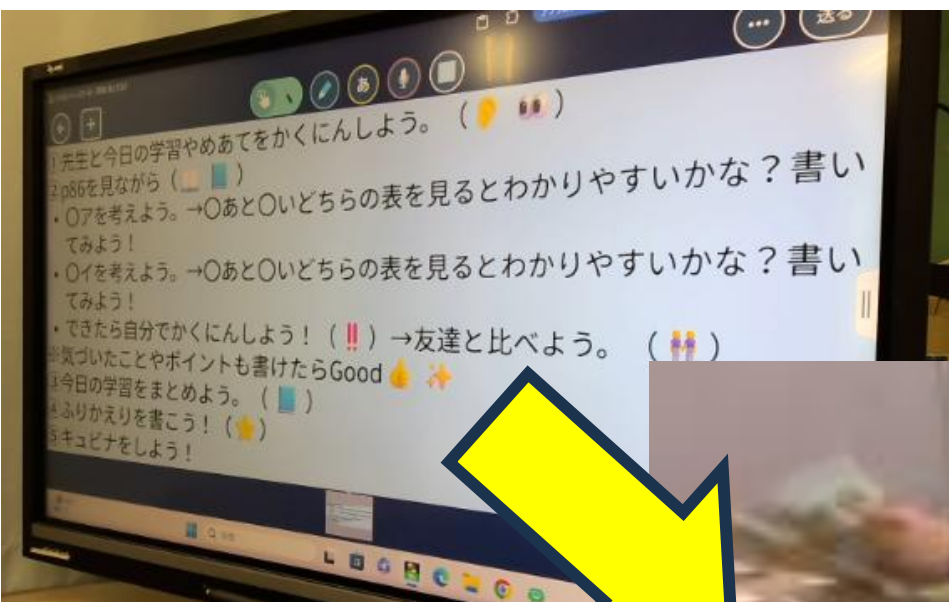


振り返りをもとに、
学び方や計画を
調整する。

自分で選び、
学び続ける



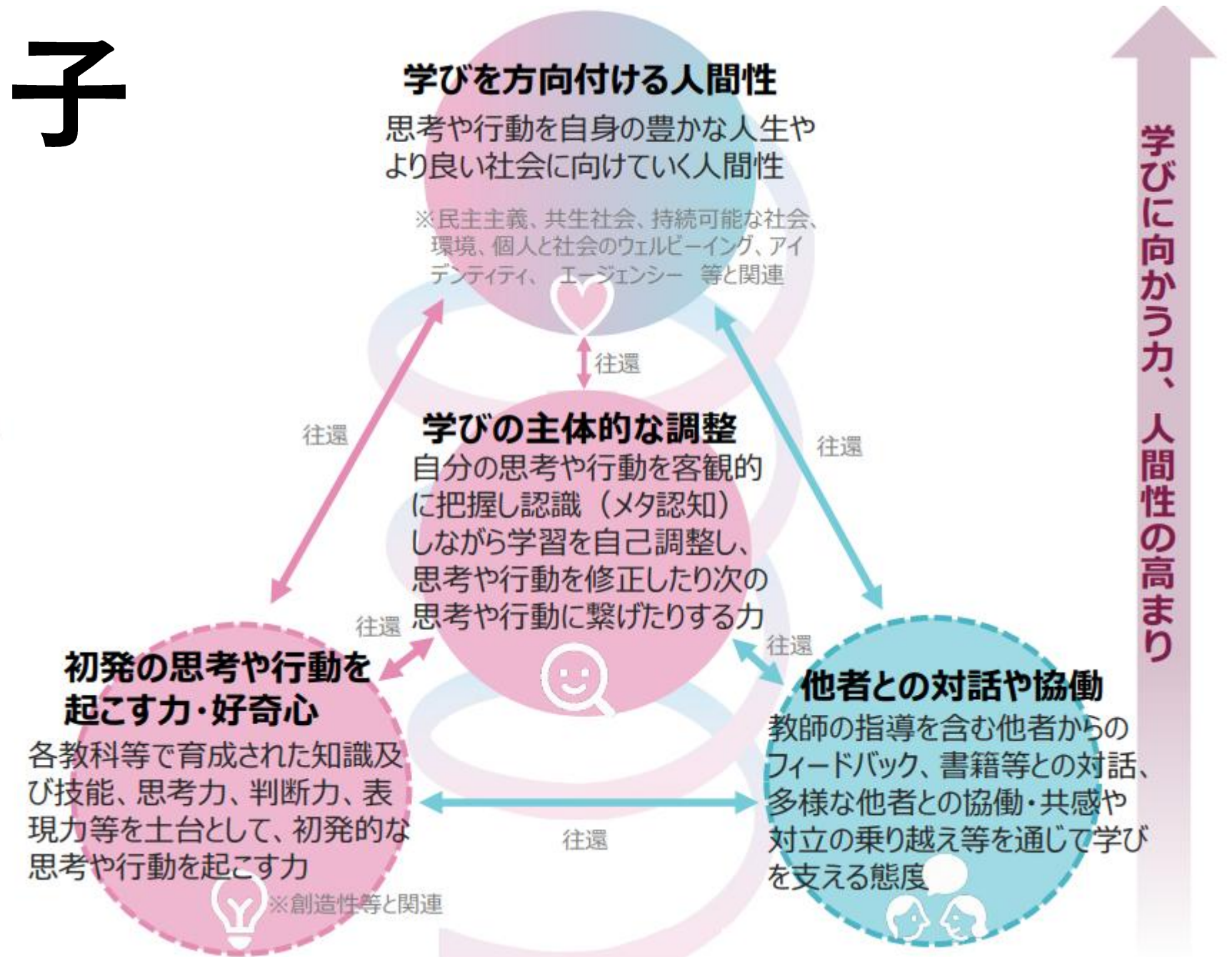
自分で選び続け、
よりよく学び続ける。



どんな子どもを目指すのか

自分らしく学び続ける子

- ❁ やってみたい！を大切にする
- ❁ 自分で選んで学ぶ
- ❁ 仲間と考えを深める



先生たちと学校全体で



子どもたちの声

情報活用能力の通じて、 子どもの主体性を引き出す

「やってみたい」「自分で選ぶ」「次はこうしたい」

門真小学校

〒571-0041 大阪府門真市柳町4-1
tel：06-6909-2000

HOMEPAGE



REPORT

